

みなみん

第20号

2021年8月発行

みなみんは地域の皆様とご一緒にできるかぎり元気で、たとえ人の助けが必要になっても安心して住み続けることができるまちづくりの知恵を出し合っていきたいと思ひます。



メディカルケア南ヶ丘のかき氷サービス

発行：医療法人 芙蓉会

〒816-0971 大野城市大字牛頭 1034-5

☎ 092-595-0595 (代)

FAX 092-595-0610

ホームページ

<http://www.minamigaoka.jp>



筑紫南ヶ丘病院でクリック! 筑紫南ヶ丘病院 検索



筑紫南ヶ丘病院

南ヶ丘訪問看護ステーションききょう

ケアプランサービス「南ヶ丘」

介護付有料老人ホーム メディカルケア南ヶ丘

地域連携室のご紹介

皆様こんにちは 筑紫南ヶ丘病院地域連携室 医療ソーシャルワーカー豆塚です。私たちは「地域の皆様と病院とを繋いでいく架け橋」として日々邁進しています。私たちソーシャルワーカーの主な仕事内容は・・・

- 療養中の患者さまやご家族の心理的・社会的問題の解決やその調整への援助
- 患者さまの退院援助と退院後の生活支援
- 患者さまの退院後の社会復帰援助
- 患者さまおよびそのご家族の受診、受療に関する援助
- 患者さまとご家族が抱える医療費や生活費など経済的問題の解決、調整援助
- 地域ケア会議などへの参加による地域活動

など、病院において患者さまやご家族が抱える悩みや問題を見つけ出し、問題の解決を図るために医療機関や関連機関との調整や連携をしていくことです。

このたび、総合的な窓口として9月1日より「筑紫南ヶ丘病院ホットライン」を開設します。

「こんな事聞いてもいいのかしら・・・」と悩まれるより、まずはほんの少しの勇気でお電話下さい。

「心は熱く判断は冷静に」をモットーにお電話お待ちしております。

新しい仲間が増えました



ソーシャルワーカー 河崎 綾郁

8月2日に入職しました、河崎綾郁(かわさき あやか)と申します。

7月まで柳川市の病院でソーシャルワーカーをしておりました。

現在、新しい環境で先輩方がたの温かいご指導を受けながら、日々精進している所存です。微力ですが、患者様やご家族のご要望に添えるよう尽力して参りたいと思ひます。

また、コロナ禍で感染予防対策を十分に行いながら、地域連携室にも努めて参りますので、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひ致します。



表紙の写真について

表紙の写真は、メディカルケア南ヶ丘での「かき氷サービス」の写真と、夏を代表する花「ひまわり」の合成写真です。かき氷サービスは、メディカルケア南ヶ丘の季節のイベントとして、みな様に夏を感じて頂こうと、コミュニティホールで入居者様へサービスされています。召し上がられた方々は「なつかしい」「冷たくて美味しい」など大変好評を得ています。



■基本理念

わたし達は、お客様に生きる活力と健康を促し、尊厳ある人生を送るお手伝いをいたします。

■診療科目

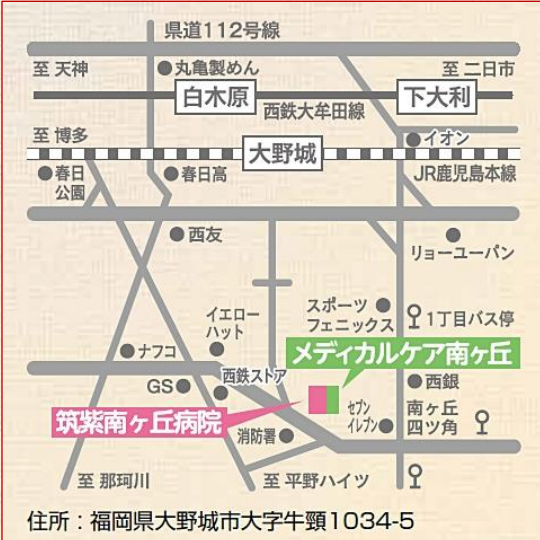
- 内科 ●消化器科 ●循環器科 ●リハビリテーション科
- 糖尿病内科 ●皮膚科

■診療時間

午前 9:00~12:00
午後 13:30~16:30
〔土曜日は午前中のみ〕

■休診日

日・祝日・お盆・年末年始(12月30日~1月3日)



科学的介護について



医療法人芙蓉会
代表・理事 前田 俊輔

(社) 日本遠隔医療介護協会 (JTCC) 理事長
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科
公衆衛生学院生
安診ネット事業本部長 (開発者)
厚生労働科学研究 研究代表者

皆さん、こんにちは。今回は2021年4月介護報酬改正より新たに導入された「科学的介護」についてお話ししたいと思います。今まで介護保険は「お世話時間」に基づいた「要介護度」を主として評価してきました。しかしこれだと、利用者様が重度化した方が家族の使えるメニューが増え、施設側の報酬も上がるため「改善しよう」というモチベーションが出にくいという課題がありました。それに対し今回の報酬改正では、本来の「高齢者の尊厳を保持し、自立した日常生活を支援することを理念」とした制度に立ち返るべく「自立支援・重度化防止の成果」が評価されることになり、今後

※当グループ開発の『安診ネット』は、新型コロナウイルス宿泊療養向けのICT医療管理システムとしても、福岡県・長野県に採用され、1日最大500名の患者様に利用されています。

その流れはさらに大きくなると言われています。当法人は2012年の介護施設（メディアカルケア南ヶ丘）設立以来、利用者様に「生きる活力と健康を促す」ために、ICT（安診ネット※）と「しくみ化（離床プロジェクト）」の2つを活用し、自立支援・重度化防止に努めてきました。その結果「要介護度の進行の抑制」や「寝たきり期間の短縮」の成果を学会で発表し、お亡くなりになる間近まで、元気にしておられる珍しい施設ということになりました。当法人はこれからも「自立支援・重度化防止」に努め、利用者様に「ここにきてよかった」と思ってもらえる施設でありたいと思います。

医局長・健診センター長のごあいさつ



石井 祐司
産業医科大学卒
耳鼻咽喉科専門医
産業医学ディプロマ (産業医科大学)
嚥下医学会嚥下相談医
温泉気候物理医学会温泉療法医
緩和ケア医師研修修了
厚生省音声言語機能等判定医師

4月に入職し、医局長・健診センター長として勤務させていただいております。石井祐司です。産業医科大学を卒業後、耳鼻咽喉科専門医・産業医として九州各地の急性期病院や健診センターなどで勤務した後、鹿児島で14年間慢性期医療を経験し、昨年福岡に戻って参りました。嚥下障害の診断やリハビリテーション、健診・産業医療業務を専門としております。趣味は時短料理、元ラガーマンで合気道二段、また温泉好きで温泉ソムリエ資格を持っております。



9/1より筑紫南ヶ丘病院ホットラインを開設します

筑紫南ヶ丘病院では、9月1日より「筑紫南ヶ丘病院ホットライン」を開設いたします。ホットラインでは、入院に悩む事例や、栄養状態、嚥下機能や食事形態、不穏状態、リハビリについてなど、様々なお悩みやご相談にお応えし、施設やケアマネジャーの方々、訪問診療医の先生方など、地域で医療・介護に携わる皆様の抱える不安や疑問などを共に共有しながら、地域の医療・介護の発展の一翼を担えたらと考えています。

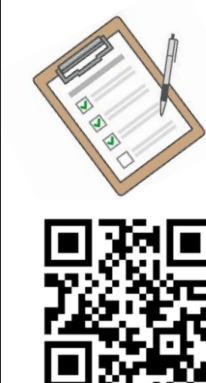
●相談窓口
☎ (595) 0595



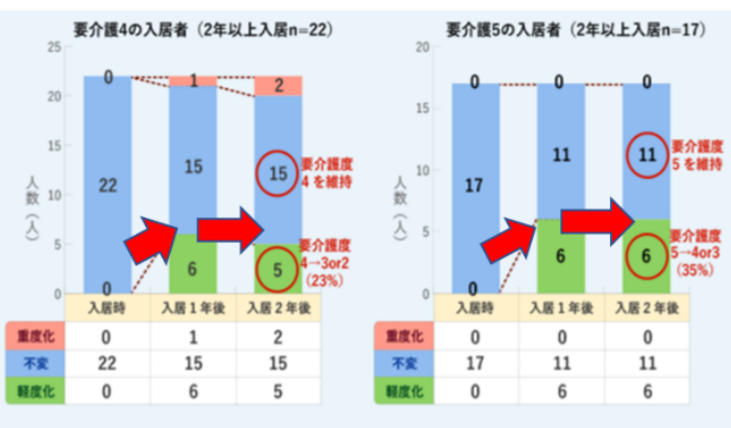
「入院申込書」がホームページよりダウンロードできるようになりました

この度、当院ではご相談から入院までの手続きの簡素化と、スムーズな入院調整のため、入院申し込みの手続き方法を変更することとなりました。これまでは、事前にお電話にて入院のお申込みを頂いておりましたが、今後はFAXにてお申込みを頂くことで、お受入れの検討・ご返答までの期間短縮に務めてまいります。

●入院申し込み専用FAX
FAX (589) 2733
●当院ホームページ
<http://www.minamioka.jp>

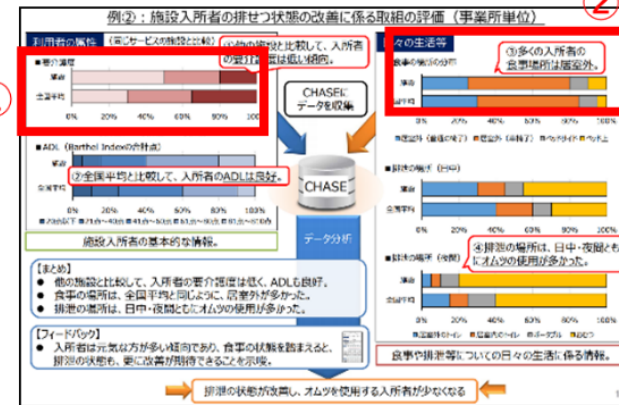


① 要介護度の進行の抑制(日本慢性期医療学会)



交絡因子が考えられる

科学的介護 フィードバック表の例



離床率: 84%、寝たきり期間: 56.4日 (全国平均4.2年)
※居室内しか食事できない→寝たきり、居室外で食事→離床